

アルテピア

社団法人 北海道美術館協力会

札幌市中央区北2条西17丁目 TEL・FAX 011-644-4025



鶴川五郎 《森の魑魅魍魎A》

2007年 油彩・キャンバス 72.7×90.9 cm 〈北海道立函館美術館蔵〉

鶴川五郎（1919～2008）は岩手県生まれの画家。1950年来道し、翌年から大野町（現・北斗市）に居を構えて制作活動を続けました。約70年におよぶ画業のなかで、作風はいくたびかの変転を見せながら展開します。とりわけ1970年代後半以降には、戦争の悲惨や怨嗟、人間存在の苦渋や葛藤、あるいは人間の所業により失われる自然と生命などをテーマに、緻密な写実描写を通して独自の芸術世界を深化させました。

最晩年の制作である《森の魑魅魍魎》は、4点組の連

作。魑魅魍魎（ちみもうりょう）とは、山河の自然物（山・川・水・木・石・等々）の異気や精気から生じる怪物・精霊のこととされます。4点それぞれの画面には、獣や鳥や魚や草木やさまざまなイメージを持った奇怪な形相のものどもがひしめきあっています。これらの怪異は畏れるべき自然の生命を象徴し、それが滅びゆくことへの鎮魂と挽歌として描かれているものかもしれません。

（北海道立函館美術館学芸課長 地家光二）

風景に刻まれた記憶 マイケル・ケンナ写真展

2009年8月29日(土)～11月11日(水)

北海道立釧路芸術館 学芸員 福地 大輔

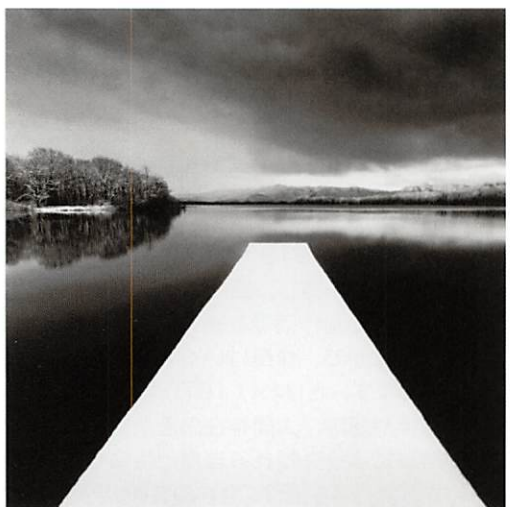
写真家、マイケル・ケンナは1953年にイギリスのリヴァプール付近にある小都市ウィドネスに生まれました。現在はアメリカ北西部シアトルを拠点に世界各地の風景を題材にした写真の制作を続けています。ケンナの作品の多くは静寂な光景にまなざしを向けるものであり、鑑賞者の想像力と深い思索を誘う表現は世界的に高い評価を受けています。近年の重要な題材の一つが北海道。ケンナは2002年以来、毎年この地を訪れ、北の大地の風土感を伝える作品の制作を続けています。

「屈斜路湖」は屈斜路湖畔で撮影された作品。弧を描く様によじれた若木の輪郭が、画面中に調和のとれた構図で表されています。雪原と背景の陰影を排除して平面的に表現された樹木の光景は、十分な余白の美をたたえ、一見して写真よりもむしろ絵画、例えば水墨画を連想させる質感と表情を見せるものです。こうした写真表現は、モノクロプリントでの制作の可能性を究極にまで追求した結果、生み出されました。



屈斜路湖 2002年

「洞爺湖」は湖畔に突き出した、雪の船着場の光景。水辺の情景はケンナの写真によく見られるモチーフです。作者の題材とする風景は原生の自然ではなく、多くは自然と人間の関りを連想することができるとは、船着場、防雪柵など微妙に人間の営みを暗示させるものを被写体の中においた作品の数々からは、作者が願う「大地との平



洞爺湖 2004年

穏な共生」を理想とする人と自然との関りがうかがわれます。「弟子屈」では画面に雪の丘陵を伝うフェンスのみが現されています。ケンナが日本で撮影した作品の多くは、少数の要素で構成され、鑑賞者の想像力をかきたてるシンプルな構図の画面が特徴です。作者によると、こうした写真表現は日本の俳句から影響を受けたとい

います。俳句の特質として、少ない文字数で豊かな表現世界を創造し日常世界の背後に潜むものを見出すことがあげられますが、俳句の表現手法を応用したケンナの写真を数々も、見慣れた光景を別の切り口で眺めて風土をあらためて見つめ直すものです。

本展では、北海道のみならず世界各地で撮影された作品も出品されております。「イースター島」は、まるで別世界に迷い込んだかのような幻想的な雰囲気、想像力をかきたてる作品です。克明に描写された海岸に対して、海面や周囲の空気や背景の雲の輪郭は溶け込んでいます。これはカメラのレンズを絞り、長時間シャッターを開けたままにすることによって得られた表現です。画面中では確固として動かずに存在し続ける岩の姿と、移ろいゆく海面と雲や空気の動きという、動と静の対比と時間の経過が暗示されています。ケンナは自身の制作の主題は「記憶と時間の流れ（ストーリー）」であるといっています。

「モン・サン・ミシエル」

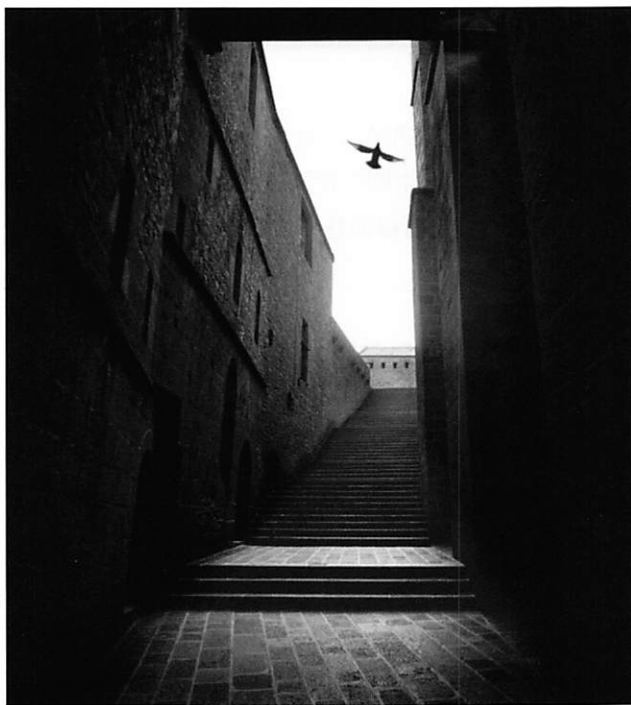
は世界遺産に登録されていることでも知られているフランスの修道院島の内部で撮影された作品です。ケンナの作品はほとんどがモノクロですが、漆黒から純白までの無限のトーンが画中で使い分けられ、空から射す光が効果的に表現されています。小径から続く階段の先の

空を舞い上がる鳥の姿は、

画面に暗示的な効果を与えています。作者によると、この映像は「祈りへの導き」を象徴的に行わした光景であるとい

います。マイケル・ケンナの評価は、個展や日本や北海道をテーマにした写真集の出版などを通じて、日本でもますます高まっています。

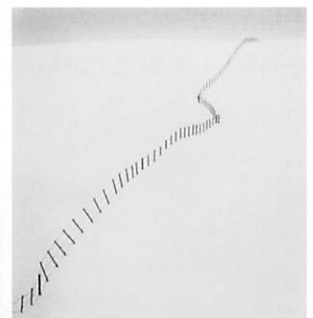
ます。本展は北海道で初めて彼の作品を紹介する展覧会です。この機会に、写真家の深い思索が生み出した静寂の映像世界を是非ご観覧ください。



モン・サン・ミシエル 1994年



イースター島 2001年



弟子屈 2002年

観覧料金

一般 600(400)円
 高大生 300(200)円
 小中生 100(50)円

※()内は10名以上の団体、リピーター、高校生以下の子とその親の親子料金。

心身に障がいのある方は無料。

休館日

月曜日(ただし9月21日、10月12日、11月2日は除く)、10月13日の火曜日(祝日の振り替え休館)。

開館時間

午前9時30分～午後5時



(社)北海道美術館協力会 法人設立30周年記念事業

平成20年7月『法人設立30周年記念事業』について、実行委員会を立ち上げ、約1年余りにわたり検討を重ねて、このたびの平成21年度定期総会において、全事業が決定しました。その概要を紹介します。

ミュージアム・バスツアー

～十勝の美術館巡り～

法人設立30周年事業のトップをきって、道内美術館巡りとして、6月3、4日と6、7日の2班に分けて、十勝の美術館（坂本直行・相原求一郎、道立帯広・神田日勝・小泉淳作・北の大地）を1泊バス旅行で実施しました。

1班は25名、2班は27名の参加の下、JR北海道バスにて札幌駅を出発。145千平方メートルの広大な敷地内にいくつもの美術館が点在する中札内美術村や道東ゆかりの代表的作家の作品を所蔵展示する道立帯広美術館や特色のある神田日勝記念館など、見どころ満載でした。途中、池田ワイン城などを経て、一泊二日の研修旅行を楽しみました。



「絵画の寄贈」

～絵画の購入と松島正幸作品を

近美へ寄贈～

法人設立30周年を記念して、絵画を購入し、北海道近代美術館に寄贈します。併せて、当協力会所蔵の松島正幸作『新緑の札幌』を寄贈します。

「子どもの美術館への招待」事業

「子ども美術鑑賞」の実施

「ジュニア・アート・クラブ2009」

への招待

1つは、作品鑑賞の授業を通じて、子どもたちの美術への理解を深め、かつ、美術館への関心を高めるため、北海道造形教育連盟と連携し、10月～11月中に、小学校1クラス、中学生1クラスを招きます。

1つは、11月14日（土）に当協力会特別活動部が実施する「ジュニア・アート・クラブ2009」“ハッピー・バルーンで空間を彩ろう！”に、児童会館を運営する（財）札幌市青少年女性活動協会と連携し、小学生約100名を招き、ワークショップ、さらに「これくしょん・ぎやらりい」を観覧し、美術館や地域の文化に触れる一助とします。

「法人設立30周年記念パーティー」の開催

近美の講堂と1Fホールを会場に、記念パーティーを開催します。パーティーの冒頭には、「絵画の贈呈」式が執り行われます。パーティーは会員等の親睦・交流を図るとともに会員拡大に繋がります。会員、ボランティア活動員、役員及び関係者など約200名の参加を予定しています。

ミュージアム・バスツアー第2弾

～美術街道を往く（日帰りバス旅行）～

バスツアー第2弾として、9月27日（日）に日帰りバス旅行を実施します。

岩内方面を巡ります。会員、ボランティア活動員、一般を対象としています。経費は6,500円です。会員皆様の積極的な参加をお待ちしております。



MUSEUM CALENDAR

2009.9～2010.3

美術館の特別展覧会ご案内

	9	10	11	12	1	2	3
近代美術館	9/2～9/13 版・継承と新 北海道版画 協会創立50 周年記念展	9/19～10/18 北の光をうたう 中野 北溟の世界	10/28～11/29 出光美術館所蔵 ジオルジュ・ルオー展	12/5～12/13 「水脈の肖像09 ～日本と韓国、 二つの今日」展	12/20～2/11 アミューズランドトゥモロー 2010		2/20～3/31 吉村作治の新発見! エジプト展 国立カイロ博物館所蔵品と
三岸好太郎美術館	6/19～9/6 所蔵品展 (第2期) 31才一駆け 抜けた生涯	9/12～10/25 日本近代洋画と 三岸好太郎 Part 1	10/31～1/17 所蔵品展(第3期) 特別展示 三岸好太郎と札幌 北海道美術史エピソード 一道展創立のころ			1/22～3/28 所蔵品展(第4期) わたしの三岸好太郎2009	
旭川美術館	7/18～10/4 あへ 弘士 動物交響楽 交差するいのちの詩(うた)	10/10～10/18 第5回 現代の書 ～北の群像～ 展	10/24～1/14 私の愛は、蝶のように飛び去った… アロイズス/北海道のアウトサイダー・アート			1/23～3/14 高橋留美子展 ～It's a Runic World～	3/20～5/30 オムニバス 道北の美術 森と川と 原野から
函館美術館	7/18～9/6 開港150年記念 箱館→函館 ビジュアル特選展	9/12～10/4 ニューフェイス あきのかおみせ 新収蔵秋顔見世	10/11～11/29 函館開港150年記念 開港地をうたう	12/5～1/17 高橋留美子展 ～It's a Runic World～		1/23～3/22 文字とアートの素敵な関係 あなたにそっと伝えたい	
帯広美術館	7/14～9/9 没後50年 北大路 魯山人展	9/18～11/11 アイヌの美 ～カムイと創造する世界～ ロシア民族学博物館・ オムスク造形美術館所蔵資料展		11/20～1/13 はな展 四季の花・幻想の華		1/22～3/31 ポップ・アート1960's→2000's	
釧路芸術館		8/29～11/11 風景に刻まれた記憶 マイケル・ケンナ写真展		11/21～1/20 視覚の「わな」 トリックアートの世界展		1/30～3/14 釧路芸術館ベスト50 コレクション・ギャラリー	
札幌芸術の森美術館	7/11～9/6 クリムト・ シーレ ウィーン 世紀末展	9/12～9/27 北海道陶芸会 40周年記念 土と炎の饗宴 オレゴンから 陶芸家を迎えて	10/3～11/23 山本正道展	11/29～1/31 札幌美術展 真冬の花畑		2/7～4/4 札幌芸術の森美術館 開館20周年記念 芸森の名品	
札幌彫刻美術館		9/5～10/25 第14回本郷新賞 受賞記念彫刻展			12/5～3/28 本郷新・平和への祈り～無辜の民		

平成21年度移動美術館のご案内

— 近代美術館・旭川美術館コレクション —

道内各地を巡回する移動美術館が、今年度は苫前町と礼文町で開催され、近代美術館と旭川美術館のコレクション、約40点が公開されます。

◎9月25日(金)～29日(火)
苫前町: 苫前町公民館
TEL 0164-65-4076

◎10月2日(金)～6日(火)
礼文町: 礼文町民活動総合センター
TEL 01638-6-2119

入場
無料

近代美術館

北の光をうたう 中野北溟展

九月二十九日(土)～一〇月一八日(日)

現代を代表する書家・中野北溟は、日本近代の詩文に長く取り組んできました。教職のかたわら、金子鷗亭に学び、国内外の書道展で高く評価されました。その作品は、言葉や文字から感じ取った韻律を、にじみよる潤いを生かした大胆な運筆や墨と響き合う余白の美しさによって、生き生きと表現しています。また、北海道焼尻島生まれである彼の作品には、北方の海に浮かぶ島ではぐくまれた、光や風や波に対する独特の風土的感觉を感じ取ることができま

きます。今回の展覧会では、北海道の詩人・原子

修の長編詩「原郷創造」による新しい連作を中心に、北欧の叙事詩「カレワラ」をテーマとする連作、「海」をテーマとする連作、および初期から最近までの代表作を加えて、約八〇点の作品により、中野北溟の書の世界を余すところなくご紹介いたします。作者の心の琴線と言葉が触れあつて生み出された即興性豊かなイメージの世界、人と言葉を結ぶ書の世界の魅力を心ゆくまで鑑賞下さい。



《サンボ物語 不滅の賢者》
(北欧叙事詩「カレワラ」より)
1999(平成11)年 個人蔵

三岸好太郎美術館

特別展「日本近代洋画と三岸好太郎 Part 1」

九月二日(土)～一〇月二五日(日)

『三岸好太郎―昭和洋画史への序章』という一冊の本があります。これは、三岸好太郎(一九〇三―一九三四)研究の決定版で、著者は北海道出身の美術史家・匠秀夫(一九二四―一九九四)。一九六八年に北海道立美術館より初版が発行されました。この本は三岸好太郎の創作の背景や、豊富なエピソードに彩られた生涯を余すところなく語るのみではなく、幅広い視点から同時代の絵画や社会状況までも生き生きと照らし出しています。



三岸好太郎《少年道化》1929年
東京国立近代美術館蔵

展覧会では、この本をベースに、三岸作品とともに彼に影響を与えた巨匠達の作品をあわせて紹介し、日本近代美術のダイナミックな動きの中に三岸の魅力を再発見します。岸田劉生《麗子洋装之像》(下関市立美術館蔵 後期展示)、木村莊八《ハンの会》(岐阜県美術館寄託)、林武《裸婦》(兵庫県立美術館蔵)等の名作もご覧いただく好機です。

旭川美術館

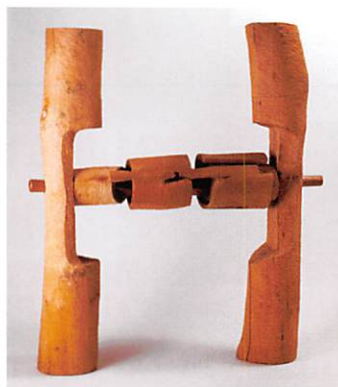
オムニバス・道北の美術

一森と川と原野から

二〇一〇年三月二〇日(土)～五月三〇日(日)

旭川美術館では、一九八二年の開館以来「道北の美術」と「木の造形」をテーマに、調査研究、収集、展覧会活動等を行ってきました。

今回の展覧会では、当館コレクションを中心に、道北地方の注目される美術活動をトピックとして取り上げ、オムニバス形式で紹介いたします。彫刻家・砂澤ビッキが大きな求心力となつてイギリス人彫刻家デイヴィッド・ナッシュなどが訪れた音威子府村における創作活動や、戦後の旭川美術界と大きな関わりを持った旭川の写真家たち、旭川



砂澤ビッキ《集吸呼A》1986年
北海道立旭川美術館蔵

圏の家具木工やデザインなどについて、現在調査を進めています。また、第二展示室では旭川在住の木の彫刻家・板津邦夫の世界を当館コレクションによつて紹介する「板津邦夫の木・黙(モク・ワールド)」を開催します。合わせてお楽しみください。

函館美術館

高橋留美子展

It's a Runic World

二月五日(土)～二〇一〇年二月一七日(日)

デビュー以来、幅広い世代の人気をあつめている漫画家・高橋留美子さん。そのふしぎな魅力たつぷりの世界を紹介する初めての展覧会が開かれます。四大代表作(『うる星やつら』『めぞん一刻』『らんま1/2』『犬夜叉』)を中心に、貴重なカラーイラスト原画や展覧会のための描きおろし原画など約一五〇点を公開!

また、青山剛昌さんら有名作家三四名がラムちゃんを描く「My Lum」の特別展示や、本展でだけ上映のスペシャル映像など



©高橋留美子/小学館

も必見!見どころ盛りだくさんの展覧会をお楽しみください。北海道では函館と旭川のみの開催です。お見のがしなく!

帯広美術館

はな展

四季の花・幻想の華

二月二〇日(金)～二〇二〇年二月三日(水)

花は古今東西、それぞれの地域や季節ごと特徴ある艶姿で人々の心を魅了してきました。切り花や鉢植として飾られるばかりでなく、絵画や彫刻のモチーフとして、室内装飾や調度品をはじめとしたさまざまな工芸品や衣装など、装飾を生み出す造形のルーツとして、あるいは生命の根源を示すシンボルとして、さまざまな美術創作のシーンで尽きることはないインスピレーションを届けてくれます。

本展では、四季の移り変わりの中でその

真の姿を写し出す「描かれた花」、そして人の心の奥底を映し出す「幻想的な華」という、ふたつの「はなへの視点から、記録的な視点で描かれた博物画や植物細密画をはじめ、洗練された近代の日本画や印象的な油彩画のほか、刀の鏝や衣装、アイヌ工芸などの意匠、さらに写真や映像、インスタレーション(仮設展示)など、花に結びついた多彩な美術を紹介しします。



高坂和子《晩夏のレクイエム》1980年

釧路芸術館

視覚の「わな」

トリック・アートの世界展

二月二日(土)～二〇二〇年二月二〇日(水)

この秋から釧路芸術館では、高松市美術館のコレクションを中心とした「トリック・アートの世界展」が始まります。その魅力を一言でいうなら、「見てびっくりの面白さ」でしょう。写真と思いきや、絵だったり、自動販売機と思いきや、木の彫刻だったり、凸凹と思いきや、平面の絵だったり。そんな驚きと発見いっぱいの展覧会ですから、小さな子どもでも楽しめることまちがいないし、是非、親子で足をお運びください。この展覧会には、もうひとつの魅力があります。視覚と固定概念にゆきぶりをかける日本の

戦後美術の秀作が一堂に会しているということです。一九六〇年代の錯視効果を用いたオプ・アートや光を効果的に使ったライト・アート、七〇年代の写真表現を利用したストリー・リアリズム、九〇年代の古典絵画を引用したパロディ作品など。日本の現代美術を代表する作家たちによる、いわば「視覚のわな」が仕掛けられた作品が並びます。乞うご期待！



林範親《4:17P.M.(ストリート)》1986年

札幌芸術の森美術館

山本正道展

一〇月三日(土)～二月三日(月)

丸みを帯びた造形による少女や親子の愛らしい姿。樹木や人、ロバ、遺跡などが点在する牧歌的な風景。山本正道(一九四一年京都市生まれ、藤沢市在住)が生み出す彫刻には、ゆつたりとした時が流れ、懐かしさとやさしさが満ちています。余市出身の陶芸家山本正年を父にもち、自身も幼少期に母の故郷の小樽に住むなど、北海道とのかかわりも深く、北大のポプラ並木をモチーフとした作品も手がけています。また、北大構内の《新渡戸稲造顕彰碑》をはじめ、洞爺湖畔、JR北広島駅など道内でも各地で作品を見ることが出来ます。



《母と子》1995年 テラコッタ

本展は、ローマ留学中に制作した初期の作品から最新作までの約四〇年にわたる彫刻約三五点と素描約四〇点を展示する北海道で初めての大规模な展覧会です。石彫やテラコッタ、蠟型鑄造によるブロンズなど、それぞれの素材の風合いを生かした山本正道の詩情溢れる世界をお楽しみください。

本郷新記念札幌彫刻美術館

第一四回本郷新賞受賞記念

江口週彫刻展

九月五日(土)～一〇月二五日(日)

本郷新記念札幌彫刻美術館は、日本全国に多数の野外彫刻を制作設置した彫刻家 本郷新(一九〇五～一九八〇)の業績を記念して九八三年に「本郷新賞」を創設しました。「本郷新賞」は、過去二年間に公共空間に設置された彫刻の中で、環境に調和した優秀な作品一点を選び、賞を贈ります。今年は、第四回を迎えました。

第四回の選考対象となったのは、二〇〇七年から二〇〇八年の二年間に日本全国の公共空間に制作設置された作品です。あらかじめ、当館が委嘱した委員より推薦された二九点の候補作品

をもとに、選考委員会が開催されました。

設置者等から提供いただいた資料をもとに五人の選考委員が厳正な審査を行い、栃木県庁舎本館(階民ロビー)に設置された江口週制作《時を漕ぐ舟》がフォルムの緊張感と素材を生かした清々しいイメージが高く評価され受賞と決まりました。

地元の下チの木・制作で完成した作品です。

転生プロジェクトが、新しく完成した県庁舎に寄贈するために、県木であり、由緒ある樹齢約三百年の栃の木を素材として江口週氏に依頼し、多くの住民の参加した公開



《時を漕ぐ舟》2007年

A・RE・ KO・RE

information

美術講座、美術への誘い ～お誘いとボランティア活動紹介～

北海道美術館協力会では、道立近代美術館・三岸好太郎美術館の共催で美術講座を開催しています。

今年度は5月からスタートし200余名が受講しています。講座は全15回、近代美術史から日本の美術・北海道の美術を紹介する内容。道民カレッジ講座と連携しており1講座につき2単位取得できます。受講修了者は、両美術館のボランティアとして活動するための研修を受けることができます。



今年度 美術講座の様子

美術館ボランティアの活動は多岐にわたっており、売店業務、解説業務、資料整理業務、会報（本誌）の編集・発行などがあります。また「美術への誘い」という館外活動があり、地域のサークルや区民センター等へ出向き、市民の皆様へ美術の普及活動を行っています。

**まずは美術への誘いから
お気軽にのぞいてみませんか!**

三岸好太郎美術館ミニ・リサイタル

三岸好太郎美術館では、三岸の作品くオーケストラにちなんで、プロの音楽家をめざす若手による演奏会、ミニ・リサイタルを展示室内で行っています。

これからの予定は次のとおりです。



ミニ・リサイタル (いずれも14時開演)

149回	11月21日(土)
150回	12月19日(土)
151回	1月30日(土)
152回	2月27日(土)
153回	3月13日(土)

入館者は無料



芸術週間 —Art Week—

文化の日を挟んだ11月1日(日)から7日(土)は芸術週間としてコンサート等、多彩なアート・イベントが開催されます。

期間中は、近美のこれくしょん・ぎやらりい及び三岸好太郎美術館は入場無料となっています。たとえば、三岸好太郎美術館では、下記の催しが予定されています。

- コンサート
 - 11月1日(日) 14:00から 南高生によるコンサート
 - 11月1日(日) 15:30から コール・ヌンコンサート
 - 11月2日(月) 14:00から 箏とピアノのコンサート
- フリーアトリエ
 - 11月3日(火)から7日(土) 13:00~15:00

近代美術館展示室夜間開館

夏期、展示室を夜間延長して開館しております。

開館時間は午後7時30分までです。(入館は午後7時まで)

9月の予定は、4日、11日、18日、25日(いずれの日も金曜日)に実施されます。

おめでとうアルテピア!!

おかげさまで『アルテピア』は、法人設立 30 周年を迎えました。

美術への架け橋として、今後も会員の皆様にとくさんの情報をお届けして参ります。当会の活動をより一層充実させていくためにも、『アルテピア』の知名度を高め会員数を拡大していくことは不可欠です。会員の皆様には、ご友人や知人の方々に当会のPRや入会のお誘い、またお知り合いの企業・団体がございましたら、法人会員入会の働きかけをして下さいますよう、今後ともご協力をお願い申し上げます。

☆ 会員証の更新は、美術館1階売店でも扱っています。
☆ 美術館にお越しの際は、お気軽にお立ち寄りください。

情報満載アルテピアのホームページは…
<http://www.artepia.or.jp>

新会員紹介

2009年3月～2009年7月・敬称略

ご入会ありがとうございました

3月			札幌市			札幌市			札幌市			札幌市			札幌市			札幌市					
札幌市	石本久美子	久美子	札幌市	田川愛子	愛子	札幌市	杉福瑛子	瑛子	札幌市	工藤朗子	朗子	札幌市	工藤朗子	朗子	札幌市	藤森義人	義人	札幌市	藤森義人	義人	札幌市	藤森義人	義人
札幌市	加藤有子	有子	札幌市	川崎静子	静子	札幌市	塚見多佳子	多佳子	札幌市	白藤吉田	吉田	札幌市	白藤吉田	吉田	札幌市	白藤吉田	吉田	札幌市	白藤吉田	吉田	札幌市	白藤吉田	吉田
札幌市	榎幸順子	幸順子	札幌市	高橋垣陽子	垣陽子	札幌市	長井久美子	久美子	札幌市	吉田鈴木	鈴木	札幌市	吉田鈴木	鈴木	札幌市	吉田鈴木	鈴木	札幌市	吉田鈴木	鈴木	札幌市	吉田鈴木	鈴木
札幌市	加納秀俊	秀俊	札幌市	秋篠和恵	和恵	札幌市	福迫伊都子	伊都子	札幌市	鈴木木山	木山	札幌市	鈴木木山	木山	札幌市	鈴木木山	木山	札幌市	鈴木木山	木山	札幌市	鈴木木山	木山
札幌市	平木恵雄	恵雄	札幌市	松山セツ子	セツ子	札幌市	福迫尚一郎	尚一郎	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	菊池隆苗	隆苗	札幌市	豊嶋幸子	幸子	札幌市	上谷内京子	京子	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	大場早基	早基	札幌市	菊池川育央	育央	札幌市	龍田勝則	勝則	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	重盛基厚	基厚	札幌市	小村津文	津文	札幌市	龍田名淑	名淑	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	清水上逸子	逸子	札幌市	千葉香昇	香昇	札幌市	山田純子	純子	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	吉田愛浩	愛浩	札幌市	常谷麻子	麻子	札幌市	北国慧美	慧美	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	平野真紀	真紀	札幌市	我孫子正和	正和	札幌市	久光優華	優華	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	平野真紀	真紀	札幌市	我孫子正和	正和	札幌市	久光優華	優華	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
室蘭市	櫻田豊次	豊次	札幌市	鈴木和幸	和幸	札幌市	坂口幸江	幸江	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	高崎紀子	紀子	札幌市	川崎静子	静子	札幌市	大和本真智子	本真智子	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	武田居紀	居紀	札幌市	高橋垣陽子	垣陽子	札幌市	杉越智康	智康	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	加藤孝子	孝子	札幌市	秋篠和恵	和恵	札幌市	越智尚輔	尚輔	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	古川聡子	聡子	札幌市	松山セツ子	セツ子	札幌市	石狩市		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	佐久徳昭	徳昭	札幌市	豊嶋幸子	幸子	札幌市	甲斐野市子	市子	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	井形徳昭	徳昭	札幌市	菊池川育央	育央	札幌市	真鍋康利	康利	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	宮嶋礼司	礼司	札幌市	小村津文	津文	札幌市	真鍋麻利子	麻利子	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	村上敏子	敏子	札幌市	千葉香昇	香昇	札幌市	吉村桃子	桃子	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	村上敏子	敏子	札幌市	常谷麻子	麻子	札幌市	角谷誓司	誓司	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	諸岡秀子	秀子	札幌市	我孫子正和	正和	札幌市	阿部真史奈	真史奈	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	
札幌市	諸岡秀子	秀子	札幌市	我孫子正和	正和	札幌市	阿部真史奈	真史奈	札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山		札幌市	片山	

法人会員紹介

— ご協力まことにありがとうございます —

北海道電力(株) サッポロビール(株)北海道本社 北海道銀行 ホテル・ライフオート札幌 中西印刷(株)
 (社)北方圏センター (社)北海道私立幼稚園協会 札幌通運(株)札幌引越センター札幌西支店 (株)南香園 (株)六書堂
 北海道文化放送(株) アトリエ・ルートスリー 東海大学 旭川校舎 北洋ビル管理(株) (財)北海道理蔵文化財センター
 (株)光映堂シーエーブイ 伊藤組土建(株) (財)北海道教職員厚生会 東急観光(株)札幌支店 (株)北洋銀行
 HBA(株) オンワード福祉共済センター 北海道土質コンサルタント(株) ノースパシフィック(株) 北洋システム開発(株)
 (株)札幌北洋カード 交洋不動産(株) (株)北海道新聞 (株)道新文化センター 北海道信用保証協会
 (有)内藤表具工房 (株)道新サービスセンター (株)道新中西販売所 (株)どうしん厚別販売センター (株)ほくせん
 (財)札幌市芸術文化財団 芸術の森美術館 三菱電機(株)北海道支社 (財)エム・オー・エー美術文化財団北海道支部
 (株)三好商会 北洋ビジネスサービス(株) 大丸藤井(株) 日本通運(株)札幌西支店 北海電気工事(株)
 国土交通省共済組合 札幌管区気象台支部 JR北海道 法務省共済組合 札幌法務局 北栄保険サービス(株)
 近畿日本ツーリスト(株)北海道イベント・コンベンション支店 (株)道新スポーツ 岩橋印刷(株) 札幌通運(株)

(2009年7月末日現在・敬称略)

事務局だより

平成21年度通常総会 会長挨拶要旨

日頃より、ボランティア活動を中心に当協会の事業が積極的に進められ、当初の計画通りに執行されたことに、心より感謝申し上げます。

さて、本年度は、社団法人設立30周年の節目に当たります。

30周年の節目を、更に今後の発展の礎にすることを念頭に、諸々の事業計画を盛り込んでおります。

協会の通常の活動の他に、30周年を記念して、近代美術館への絵画の贈呈、記念式典パーティの実施、子どもの美術館への招待、バスでの道内美術館巡りなどを計画しておりますが、大変忙しい1年となることと思います。

会員の皆様のご支援により、素晴らしい1年に持つて行きたいと考えておりますので、活発なご意見を頂きたいと存じます。

審議の概要

議案第1号

平成20年度事業報告及び収支決算報告について、原案どおり承認可決された。

事業報告の概要

- 1 ボランティア活動員による道立美術館への協力事業には、延べ8,000人(昨年8,500人)が参加。
- 2 アルテピア会員証による、各美術館への観覧料は465万円。
- 3 会員対象の広報誌「アルテピア」を内容をさらに充実させ、オールカラー版とした。
- 4 美術の普及や会員の勧誘、拡大をも図るための「美術への誘い」事業を33回実施した。
- 5 「美術講座」参加者は165名、うち修了者は7割の116名、現在17名がボランティア活動員として活動している。
- 6 「学生美術全道展」の優秀者(岩内高校3年向井かおりさんの「鉄工にて」が選ばれた)に北海道美術館協会賞を授与した。
- 7 ホームページをリニューアルした結果、昨秋以降毎月3,000件を超える利用があった。

議案第2号

平成21年度事業計画及び収支予算案について、原案どおり承認可決された。

事業計画の概要

美術館への協力事業、ボランティア活動員の活動事業は、ほぼ昨年通りの計画となっている。なお、平成21年度は法人設立30周年を迎えるため、各種の記念事業を計画している。

- 1 会員証利用による各美術館の観覧については、入館者の増員に引き続き協力していきたい。
- 2 会員への適切な情報を提供するためにも、更に広報活動の充実に努めていきたい。
- 3 今年度の「美術講座」の参加申込者が、募集に力を入れたこともあり過去最高の233名となった。
- 4 「美術への誘い」事業については、年々要請回数が増えており、本年度も可能な限り受け入れたい。

5 「美術研修旅行」

- ・国内旅行(箱根・静岡美術館めぐり3泊4日の旅)
旅行期間 21年5月11日(月)～5月14日(木)
旅行行程 箱根～静岡～浜松各美術館
 - ・海外旅行(メトロポリタン美術館とバーンズコレクションなどを訪ねて10日間の旅)
旅行期間 21年9月1日(火)～9月10日(木)
旅行行程 アメリカ東海岸(ワシントン・フィラデルフィア・ニューヨーク・ボストン)
- 6 「学生美術全道展」優秀者への北海道美術館協会表彰は本年度も実施する。

議案第3号

法人設立30周年記念事業及び収支予算案について、原案どおり承認可決された。

- 1 絵画の購入
絵画を購入し、当協会蔵の松島正幸作の「新緑の札幌」と共に北海道立近代美術館に寄贈する。
- 2 「法人設立30周年記念パーティ」の開催
北海道立近代美術館講堂及び1階ホールにて開催する。
- 3 「子どもの美術館への招待」の実施
 - (1) 「子どもの美術鑑賞」の実施
北海道造形教育連盟の協力により 北海道立近代美術館を会場に2日間
 - (2) 「ジュニア・アート・クラブ2009」の実施
(財)札幌市青少年女性活動協会の協力により、11月14日北海道立近代美術館を会場に、小学生100人を対象に作品の制作を行う。
- 4 「ミュージアム・バスツアー」の実施
 - (1) 「道内美術館巡り(1泊バス旅行)」の実施
 - (2) 「道内美術館巡り(日帰りバス旅行)」の実施

報告事項(役員の退任について)

当協会の理事、馬場 昭氏が平成21年11月3日ご逝去されましたので、理事退任の報告をおこなった。

(社)北海道美術館協力会役員

会 長	吉野 次郎	理 事	石黒 勇治	金井 英明	高橋 英雄	和田 壬三	監 事	荒井 善則
副 会 長	植村 敏		岩田 泰	腰塚 清一	谷 紘子			安藤孝次郎
	小林 敏明		魚住 昌也	菅 伸之	棟 徹夫			
	山口 節子		浦田 久	杉本 互	長峯 慰子			
専務理事	藤井 勇吉		大萱生 明	関川 節子	藤井 正治			

(表1)平成20年度収支決算総括表(平成20年4月1日から平成21年3月31日まで)

(単位:円)

収 入 の 部					支 出 の 部						
科 目	合 計	一般会計	特 別 会 計		内部取引 消 去	科 目	合 計	一般会計	特 別 会 計		内部取引 消 去
			売店会計	駐車場会計					売店会計	駐車場会計	
基本財産運用収入	21,057	21,057	0	0	0	事業費支出	41,000,083	7,266,591	20,374,856	13,358,636	0
特別収入	124,297	124,297	0	0	0	管理費支出	6,477,629	6,477,629	0	0	0
会費収入	10,819,000	10,819,000	0	0	0	30周年記念事業運営費	665,951	665,951	0	0	0
事業収入	35,645,916	1,343,100	19,118,118	15,184,698	0	特定資産取得支出	124,297	124,297	0	0	0
寄付金収入	0	0	0	0	0	他会計への繰入支出	1,000,000	0	500,000	500,000	0
他会計からの繰入収入	1,000,000	1,000,000	0	0	0						
雑収入	78,638	47,325	11,158	20,155	0	当期支出合計	49,267,960	14,534,468	20,874,856	13,858,636	0
当期収入合計	47,688,908	13,354,779	19,129,276	15,204,853	0	当期収支差額	△1,579,052	△1,179,689	△1,745,580	1,346,217	0
前期繰越収支差額	19,930,779	3,554,527	8,123,631	8,252,713	0	次期繰越収支差額	18,351,819	2,374,838	6,378,051	9,598,930	0
収入合計(B)	67,619,779	16,909,306	27,252,907	23,457,566	0	支出合計(B)	67,619,779	16,909,306	27,252,907	23,457,566	0
予算額(A)	76,333,000	16,820,000	36,606,000	22,907,000	0	予算額(A)	76,333,000	16,820,000	36,606,000	22,907,000	0
差異(A-B)	8,713,221	△89,306	9,353,093	△550,566	0	差異(A-B)	8,713,221	△89,306	9,353,093	△550,566	0

(表2)平成21年度収支予算総括表(平成21年4月1日から平成22年3月31日まで)

(単位:千円)

区 分		収 入 の 部				支 出 の 部				
		科 目	予算額	前年度予算額	差 異	備 考	科 目	予算額	前年度予算額	差 異
一 般 会 計	基本財産運用収入	10	10	0	定期預金利息	事業費支出	24,743	6,041	18,702	V活動経費、会報・部内報印刷費、 会員経費等経費
	特別収入	50	50	0	美術振興基金利息	美術鑑賞活動費	5,198	5,215	△17	絵画購入
	会費収入	10,310	10,801	△491	法人、個人会員等年会費	30周年記念事業費	18,647	0	18,647	子どもの美術館への招待事業他
	事業収入	17,153	1,356	15,797	美術振興基金取崩収入 美術講座受講料・つどい会費等	美術講座等開催事業費	785	713	72	美術講座資料作成費・ つどい経費等
	寄付金収入	10	10	0		美術研修修繕事業費	62	62	0	美術研修修繕事前研修経費等
	雑収入	20	20	0	普通預金利息	美術優秀制作展覧事業	51	51	0	協力会員の贈呈経費(商品券)
	他会計からの繰入収入	3,000	1,000	2,000		管理費支出	6,449	6,166	283	運営管理費
	当期収入合計	30,553	13,247	17,306		30周年記念事業運営費	0	1,000	△1,000	30周年事業企画経費
	前期繰越収支差額	2,374	3,573	△1,199		特定資産取得支出	0	0	0	美術振興基金積立預金支出
収入合計	32,927	16,820	16,107		当期支出合計	31,192	13,207	17,985		
特 別 会 計	売上収入等	23,000	28,000	△5,000	売上収入	事業費支出	21,948	28,302	△6,354	仕入、賃金、施設賃借料等
	雑収入	10	20	△10	預金利息	他会計への繰入支出	0	500	△500	
	当期収入合計	23,010	28,020	△5,010		当期支出合計	21,948	28,802	△6,854	
	前期繰越収支差額	6,378	8,586	△2,208		当期収支差額	1,062	△782	△1,844	
	収入合計	29,388	36,606	△7,218		次期繰越収支差額	7,440	7,804	△364	
	駐車場料金収入	10,190	13,000	△2,810	駐車場利用収入	事業費支出	10,169	14,357	△4188	管理委託料、土地借上料等
	雑収入	10	10	0	預金利息	他会計への繰入支出	3,000	500	2,500	
	当期収入合計	10,200	13,010	△2,810		当期支出合計	13,169	14,857	△1,688	
	前期繰越収支差額	9,598	9,897	△299		当期収支差額	△2,969	△1,847	△1,122	
収入合計	19,798	22,907	△3,109		次期繰越収支差額	6,629	8,050	△1,421		
内部取引消去	0	△1,000	1,000		支出合計	19,798	22,907	△3,109		
総 合 計	82,113	75,333	6,780		総 合 計	82,113	75,333	6,780		

会員の広場開設!

会報アルテピアは、全ページがカラー化され一年が経ちましたが、この度、より一層皆様に親しまれる会報を目指し、会員の広場「アルテピア・サロン」を開設することにしました。会員の皆様から、美術や美術館に係わる自由文を募集します。好きな作家や作品、感激したこと、楽しかったこと、う

れしかったこと、趣味など、どのような内容でもかまいません。各地域での催しやあまり知られていない個人美術館の紹介、本誌への感想なども気軽にお寄せください。多数の投稿をお待ちしております。

投稿
規定

400字程度の文章(用紙は自由、はがきも可)、手書き、ワープロ、どちらでもよろしいです。お名前、連絡先を記載のうえ、郵送またはファックスにて下記までお送りください。(連絡先は掲載しません。掲載分は薄謝贈呈)

あて先 ▶ 〒060-0002 札幌市中央区北2条西17丁目 北海道美術館協会の事務局「会員の広場」 ファックス：011-644-4025

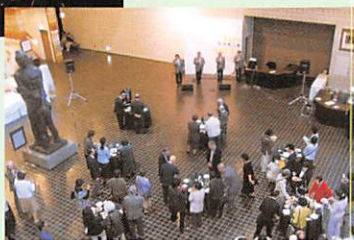


つどい2009

今年の「つどい」は5月29日の通常総会終了後、今秋に予定されている海外美術研修旅行「メトロポリタン美術館とボストン美術館などを訪ねて」をテーマに、近美1Fホールで盛大に開催されました。

当夜はアマチュア男声コーラスグループの「ダンディー・フォー」がゲスト出演し、北海道やアメリカの歌を熱唱。

平均年齢68才を感じさせない見事なハーモニーを聴きながら、札幌グランドホテルのビュッフェとワインで楽しいひと時を過ごし、会員相互の交流と親睦を深めました。



ミュージアム・スクール2009 キンピ 美術館を知りつくせ!

7月24日から8月18日までの間、ミュージアム・スクール2009が開催されました。参加者は「ミニ・アトリエ」で、美術館でみた「何か気になったもの」をフラッグ(旗)に楽しく描いたり、「アート・オリエンテーリング」では館内を回ってスタンプ集めに夢中。また「アート・レッスン」(7日・8日)やワークショップ「クイズ・ミュージオネア」(7月31日・8月1日)が開かれ、「これくしょん・ぎやらりい」の観覧や美術に関するクイズへの挑戦などで、近美体験を楽しんでいました。



編集だより

巻頭で紹介した「マイケル・ケンナ写真展」(釧路芸術館)、お楽しみ頂けましたか。写真には、「音」が聞こえてくる写真と「音」を奪う写真の2種類があるそうです。マイケル・ケンナ氏の静謐に徹した作品は後者の代表的な表現であり、「音」を奪うとともに「色」まで消し去り、視る者を静寂の世界へと誘います。

溢れる色彩を見慣れた視覚には、とても新鮮な感覚でした。

モノクロ(白黒)写真とは、本来色のある被写体から色彩を奪い出来るかぎり簡素化した情報環境の中に、撮影者の感情を表現するものだそうです。

初秋を迎え、やがて訪れる静寂の季節を今年はモノクロ写真で描いてみませんか。デジタルカメラをお使いの方は、撮影モードを「モノクロ」に切替えて、またフィルムカメラをお使いの方は、いつものカラーフィルムを白黒フィルムに変えて、見慣れた街の風景から「色」を消してみるのも面白そうです。

芸術の秋、新しい表現世界に挑戦されては、如何でしょうか。(M)

一写真の街

ひとくち
メモ

「マイケル・ケンナ写真展」(釧路芸術館)。絵画とは一味違う写真表現の世界はいかがでしたか。デジタルカメラのブームにともない、アートの分野でも「写真」の存在感は、増しつつあります。

今回は、そうした「写真」をテーマに豊かな町づくりをはじめた「写真の町・上川郡東川町」の活動をご紹介します。

1985年6月、東川町は「写真の町宣言」を行ない、写真による豊かな町づくり、生活づくり、そして人づくりをはじめました。

雄大な大雪山山系の大自然に恵まれた東川町は、「写真うつりのよい町」を目指すとともに、写真に関わる多くの若者を町全体で育成支援しています。主な活動としては、毎年夏に開かれる「写真甲子園」(全国高校写真部・サークルを対象に写真を募集し、初戦を勝ち抜いた14校が東川町の本大会で写真の腕を競う)や「東川町フェスティバル」(写真の町として、一年間の集大成の祭典。東川賞授賞式を中心に各種イベント、ワークショップを開催する)などがあり、町の文化ギャラリーを拠点に活発な活動を行なっています。